

●読み手に考えさせる文章の書き方を考えよう。
○次の2つのフォトストーリーは、写真とテーマは同じですが、写真と合わせた文章が違います。どちらが心を動かされるか考えてみましょう。

▽反感を感じた表現には青い線を引き、なぜそのような感じるのか余白に書きましょう。
▽心に残る表現には赤い線を引き、なぜ心に残ったか余白に書きましょう。

テーマ 学校をよりよいものにしていくために、全校生徒の心を動かそう！

A 題名【よりよい明日へ】

選んだ写真（3枚）	写真だけでは、伝えられない事実や思いを伝える文章
→学校の委員会で作成した交通安全のポスターに、落書きがしてある写真を貼る。	生活委員会でつくられたポスターに落書きがされています。 ポスターは、みなさんの命を守るためにつくられたものです。 落書きされた人からは涙がこぼれています。
→机の天板に、名前などを落書きしているものの写真を貼る。	音楽室の机に名前が彫られていました。みんなが使う机です。だれが書いたのか分かりません。次から次へと別のだれかが彫っていきます。 この机が捨てられるまで、この落書きはずっと消えることはありません。
→教室の壁を、ペンキで色塗りして美しくしている様子の写真を貼る。	新学期が始まる前に、教室の壁が白いペンキで塗られました。三日間かけて、先生方が塗られました。先生方の手や顔はもちろん、ジャージやくつもペンキだらけでした。 真っ白な教室の壁を見て、あなたはどっと思えますか。

B

題名【落書きはやめよう】

選んだ写真（3枚）

写真だけでは、伝えられない事実や思いを伝える文章

→学校の委員会で作成した交通安全のポスターに、落書きがしてある写真を貼る。

生活委員会でつくられたポスターに落書きがされています。ヘルメットをかぶるように呼びかけるポスターです。せつかくつくられたポスターに落書きしたらいけないと思います。こんな人がいるから、学校がよくなるのだと思います。

→机の天板に、名前などを落書きしているものの写真を貼る。

音楽室の机に、名前の落書きがありました。彫られているので、でこぼこして書きにくいです。みんなが使う机なので、みんながとても迷惑しています。こんなことはほしくないです。落書きをした人は、弁償するべきだと思います。

→教室の壁を、ペンキで色塗りして美しくしている写真を貼る。

新学期が始まる前に、教室の壁を、先生方が白のペンキで塗られました。落書きがたくさん書かれていたからです。ペンキ代がたくさんかかりました。これからはこんなことにならないように、一人一人が注意して生活するべきだと思います。

○AとBを比べて、当てはまる方に○を付けましょう。

▽どちらのほうが「なるほどその通りだ」とより納得しましたか。（A・B）

▽落書きは絶対にしないと心に強く思ったのはどちらですか。（A・B）

▽読んでいて反感を感じるところがあるのはどちらですか。（A・B）

▽落書きをすることについて深く考えさせられたのはどちらですか。（A・B）

○比べて感じたことこの理由を考えながら、**読み手に考えさせる文章を書くためのポイント**を考えてみましょう。

☛読み手に考えさせる文章を書くためのポイントを学級で3つにまとめてワークシート②に書きましょう。